

令和6年度 第1回丹波市立文化ホール事業推進会議 次第

と き 令和6年7月25日(木)
午後7時30分～
ところ 春日文化ホール 会議室

1. 開 会

2. あいさつ

3. 委嘱書の交付

4. 報告事項

- ① 前回会議録の確認…資料1
- ② 令和5年度事業実施報告…P.1～P.3
- ③ 令和6年度事業進捗状況…P.4～P.9
- ④ ホール運營業務委託に関する進捗状況…資料2

5. 協議事項 (意見交換)

- ① 令和7年度事業計画(案)…P.10～P.12
- ② ライフピアいちじま大規模改修工事に伴う大ホールの休館について…資料3

6. そ の 他

- ① 委員の推薦依頼について…資料4
- ② 次回開催予定
令和6年度第2回ホール事業推進会議 令和6年9月頃予定

7. 閉 会

4-② 令和5年度事業実施報告

事業区分	公演名等	実施日	備考
大型鑑賞 公演 【有料】ライブ	① 綾小路きみまろ 爆笑！トークライブ 2023	10月22日㊤ 14:00	【全席指定】 504名/500席(+車いす席) 前売：444枚、 ローチケ：30枚、ぴあ：30枚 ※18歳未満入場不可
音楽系 小規模公演 【有料】ライブ	② 県民芸術劇場 ブラックホトムブラスバンド公演(8回目) WS ※市内中学校吹奏楽部コラボ (市島中14名、氷上中33名、春日中20名) ※一般参加者コラボ (7名 聖者の行進を演奏)	10月15日㊤ 14:00	【全席自由】 202名/470席(PA30) 前売：97枚、当日：45枚 【有-99、有高33、招待他3、生徒67】
	③ 金子三勇士 ピアノリサイタル WS(公演前日) ※金子さんによるピアノ演奏やお話、 クイズなど	10月29日㊤ 14:00	※ピアノフェスタ 25th 関連事業 【全席指定】 125名/500席(+車いす席) 前売：122枚、当日：3枚 【有-108、有高13、招待他4】 ※未就学児入場不可
ファミリー公演 【有料】ライブ	④ ライフピアノ DE クリスマス コンサート・ミュージカル (クッキーズスペシャル)	12月24日㊤ 14:00	【全席自由】 411名/500席(+車いす席) 前売：386枚、当日：21枚 【有-181、有高226、招待他4】
伝統芸能公演 【有料】ライブ	⑤ 丹波寄席(7回目) (笑福亭由瓶)	2024年2月12日㊤ 14:00	【全席自由】 471名/500席(+車いす席) 前売：441枚、当日：16枚 【有-445、有高12、招待他14】
ピックアップ アーティスト 【有料】ライブ	⑥ シリーズ19 FIRE Summer Live 2023	7月9日㊤ 14:00	※バンドフェスタ 25th 関連事業 【全席自由】 194名/500名 前売：155枚、当日：31枚 【有-178、有高8、招待他8】
ピックアップ アーティスト 【有料】春日	⑦ シリーズ20 高校生企画 卒業ライブ(5回目)	2024年3月20日㊤ 14:00	【全席自由】 225名/500席 前売：51枚、当日：58枚 【有-93、有高16、招待他59、出演57】
A2 育成支援 事業 【無料】ライブ	⑧ バンドフェスタ 25th(25回目)	7月23日㊤ 1部：10:30 2部：13:30	610名/450席(PA50)【1部：340名、 2部：270名】15バンド62名出演 (Jr：14バンド61名) (昨年：15バンド60名 入場者：計533名)
	⑨ みんなのピアノフェスタ 2023 (25回目)	11月12日㊤ 1部：10:00 2部：13:30	279名/400席(前席NG)【1部：106名、 2部：173名】 1部：25組26名出演 2部：35組36名出演 (昨年：出演者62名 入場者：計371名)
	⑩ ダンスフェスタ ACT-XXI (21回目)	12月3日㊤ 13:00	534名/490席(映像10) 10チーム157名出演 (昨年：9チーム127名 入場者：計654名)
	⑪ 第21打！和太鼓フェスタ 一打入場同時開催(21回目)	2024年1月21日㊤ 13:00	528名/500席 7チーム60名出演 (昨年：6チーム69名 入場者：計444名)
自主映画会 【無料】春日	夏 ⑫ バッドガイズ	7月17日㊤㊤ 14:00	119名/500席(一：53 高：66)
	冬 ⑬ ボス・ベイビー ファミリーミッション	12月17日㊤ 14:00	94名/500席(一：49 高：45)
	春 ⑭ 異動辞令は音楽隊！	2024年3月3日㊤ 14:00	97名/500席(一：96 高：1)

スタインウェイ ピアノ試奏会 【有料】ライブ	⑮ 68 th (延べ166名/うち新規利用者6名)	4/21～6/25の期間内 で30日間実施	124時間使用
	⑯ 69 th (延べ180名/うち新規利用者9名)	8/10～10/27の期間内 で51日間実施	119時間使用
	⑰ 70 th (延べ100名/うち新規利用者5名)	2024/2/1～2/25の期 間内で14日間実施	47時間使用

【オペレーター養成講座】

丹波市文化芸術推進基本計画の基本目標2・基本方針①に定めている「文化芸術活動を行う後継者の育成を行う」という方針により、オペレーター養成講座を開催しました。

丹波市立文化ホールでは、舞台技術のスタッフとして「オペレータークラブ ZERO-IV (ゼロ・フォー)」の舞台・照明・音響演出操作及びお客様対応等の協力を得て、『丹波市“ならでは”』の舞台運営を行っています。本講座は、地域住民が文化芸術の担い手として取り組める機会を提供し、舞台芸術への関心の向上と舞台技術オペレーターの人材育成を目的としています。

開講期間	講座数・単位	内容	申込者数	加入者数
令和5年7月1日～ 8月27日	全16講座29単位	バンドフェスタ仕込、リハ・本番体験 貸館イベント操作体験	10名	8名

5年度は、7月上旬から8月末にかけて14期生の講座を開催しました。定員の上限に達する10名の応募があり、8名の方に加入していただくことが出来ました。参加者は10代から70代まで幅広い年齢層となり、またこれまでにオペレーター経験のある方や楽器の演奏をされる方など、多様な方が集まる講座となりました。新規会員の加入により組織拡充及び後継者育成へと繋がるものとなりました。

【文化芸術体験講座 はじめの一步】

丹波市文化芸術推進基本計画の基本目標1 文化芸術の鑑賞・体験ができる機会の充実を図る。基本方針①気軽に文化芸術の鑑賞・体験ができる機会の充実を図る。②市民自らが丹波市の文化芸術の良さを再認識する。基本目標2 文化芸術活動が活発に行える環境の整備を行う。基本方針①文化芸術活動を行う後継者の育成を行う。②文化芸術活動への参加促進を図る。等の文化芸術推進基本計画により、はじめの一步講座を開催しました。

開催日	講座名	内容	参加者
令和5年7月15日	「俳句」講和	俳人 細見綾子さんと俳句のお話	5名
令和5年8月5日	ランプシェード作り	杉原紙を使ってランプシェードを作る	5名
令和5年8月11日	竹細工	竹を使ってお花と竹とんぼを作る	6名
令和5年8月22日	わくわく楽器体験講座	音を動かして、音楽を楽しむ	8名
令和5年8月27日	デザイン講座	チラシなどのレイアウトを学ぶ	7名
令和5年10月28日	ピアノ体験講座	金子三勇士さんによるピアノ演奏とお話、クイズ	18名
令和6年3月2日	よさこい	よさこいソーランを踊る	5名
令和6年3月9日	ギター	ギターの弾き方、指の使い方を学ぶ	8名
令和6年3月16日	三味線	三味線の音の出し方を学ぶ	9名
令和6年3月24日	マンドリン	マンドリンを触って、音を出してみる	10名
合計 (全10講座)			81名

5年度は、7月から10月（前期）にかけて6講座を、3月（後期）に4講座を開催しました。前期では、ランプシェード作りや竹細工など親子で体験できる講座や講師と参加者が一体となって体験できる楽器演奏など、気軽に文化芸術を体験し文化芸術を身近に感じてもらえる講座になりました。

また、金子三勇士さんによるピアノの体験講座は、参加者（保護者含む）全員が壇上に上がり、ピアノを囲む形でピアノ演奏やお話を聞くことができ、迫力のあるピアノ演奏やクイズを交えたお話に参加者はくぎ付けとなりました。ピアノを習い始めた子供たちやこれからピアノを習いたいと考えている子供たちにとってはとても有意義な時間となりました。

後期では、ギターやマンドリンなど実際に楽器に触れて音の出し方や指の使い方を学ぶことができる講座を開催し、募集定員数を大幅に超える講座もあり、楽器演奏に興味を持たれている方にとって、「はじめの一步」を体験できる場となりました。

【子育てアートサロン】

丹波市文化芸術推進基本計画の基本目標3 子どもたちが多様な文化芸術に触れる機会を増やす。基本方針①普段の生活の中で子どもたちの記憶に残るような文化芸術鑑賞・活動を行う。基本方針③子育ての過程で、親子で文化芸術に親しむために取組を進める。以上の方針に従い、子育てアートサロンを開催しました。市内全域の子育て学習センターに来られている親子を対象に実施しました。

過去には、令和2年度に市島・春日地域、3年度に青垣・山南地域、4年度に氷上・柏原地域で開催しました。

開催日	講座名	内容	参加者
令和5年8月18日	親子で楽しむふれあいコンサート（市内全域）	ブラックボトムブラスバンドと一緒に音楽を楽しむ 演奏曲 聖者の行進 他	親子 30組 計88名

【自主事業・A2事業・貸館事業における来場者数】

令和5年5月8日付けで新型コロナウイルス感染症の5類移行に伴い、外出制限やマスク着用の緩和へと方針転換したことから、文化ホールでの貸館事業においても最低限の感染症対策を講じつつコロナ前の事業形態へ戻しました。

春日文化ホールでは3月末までの実績として、73回8,128人（R4：70回8,585人）の利用回数及び来場者数となっています。また、ライフピアいちじま大ホールでは3月末までの実績として、53回11,237人（R4：44回8,736人）の利用回数及び来場者数となっています。

なお、利用回数及び来場者数は本番のみを計上しています。

4-③ 令和6年度事業進捗状況

事業区分	公演名等	実施日	備考
大型鑑賞 公演 【有料】ライブ	① 松浦航大 × よよよちゃん 歌まねジョイントライブ in たんば	6月23日㊤ 15:00	【全席指定】 479名/480席(補助席4含む)(PA24) 前売(窓口):298枚、 ローチケ:90枚、ぴあ:86枚 【有一422、有高52、招待他5】 対象:未就学児入場不可
音楽系 小規模公演 【有料】ライブ	② 県民芸術劇場 ブラックホトムプラスパント公演(9回目) WS ※市内中学校吹奏楽部コラボ	10月13日㊤ 14:00	【全席自由】 前売500円/当日600円 対象:0歳~ ※3歳以上有料
音楽系 小規模公演 【有料】	③ 0歳からのコンサート part1 KUMAさんトリオwithU	11月16日㊤	with子育てアートサロン ※子育て学習センターの親子を招待 会場はポップアップホールにて実施
音楽系 小規模公演 【有料】春日	④ 0歳からのコンサート part2 新井宗平&山本かずみ アフタヌーンコンサート	2025年3月15日㊤	with子育てアートサロン ※子育て学習センターの親子を招待
ファミリー公演 【有料】ライブ	⑤ ライフピア DE クリスマス コンサート・ミュージカル (27回目)	12月21日㊤ 14:00	【全席自由】 前売500円/当日600円 対象:0歳~ ※3歳以上有料
ファミリー公演 【有料】春日	⑥ ボルトボルズの サイエンスショー	9月8日㊤ 14:00	【全席自由】 前売1,000円/当日1,200円 対象:0歳~ ※チケット1枚で3名まで入場可
伝統芸能公演 【有料】ライブ	⑦ 丹波寄席(8回目) (笑福亭由瓶)	2025年2月9日㊤ 14:00	【全席自由】 前売〇〇円/当日〇〇円 対象:0歳~ ※3歳以上有料
ピックアップ アーティスト 【有料】ライブ	⑧ シリーズ21 アマチュアアーティスト	未定	【全席自由】 前売500円/当日600円 対象:0歳~ ※3歳以上有料
ピックアップ アーティスト 【有料】	⑨ シリーズ22 高校生企画 卒業ライブ(6回目)	2025年3月	【全席自由】 前売500円/当日600円 対象:0歳~ ※3歳以上有料
共催事業 【有料】ライブ	⑩ 坂本冬休み ものまねライブ	2025年 2月24日㊤㊤ 14:00(予定)	
補助事業 【有料】ライブ	⑪ 大阪交響楽団 クラシックコンサート	2025年 3月2日㊤ 14:00(予定)	
A2 育成支援 事業 【無料】ライブ	⑫ バンドフェスタ 26th (26回目)	7月14日㊤ 1部:10:30 2部:13:30	〇〇名/450席(PA50)【1部:〇名、 2部:〇名】15バンド64名出演 (Jr:11バンド51名) (昨年:15バンド62名 入場者:計610名)
	⑬ みんなのピアノフェスタ 2024 (26回目)	11月10日㊤ 1部:10:00 2部:13:30	1部・2部合計:73組77名出演 (昨年:出演者62名 入場者:計279名)

	⑭ ダンスフェスタ ACT-XXII (22回目)	12月1日㊦ 13:00	【出演チーム募集中】～8/18㊦まで 10チーム程度 出演予定 (昨年:10チーム 157名 入場者:計534名)
	⑮ 第22打!和太鼓フェスタ (22回目)	2025年1月26日㊦ 13:00	【出演チーム募集中】～9/22㊦まで 8チーム程度 出演予定 (昨年:7チーム 60名 入場者:計528名)
自主映画会 【無料】春日	夏 ⑯ パウ・パトロール ザ・ マイティ・ムービー	7月21日㊦ 14:00	〇名/500席 (一:〇 高:〇)
	冬 ⑰	2025年1月13日㊦㊧ 14:00	
	春 ⑱	2025年3月	
スタインウェイ ピアノ試奏会 【有料】ライブ	⑲ 71 st (延べ198名/うち新規利用者10名)	4/26～6/2の期間内で 19日間実施	102時間使用
	⑳ 72 nd	8/9～10/26の期間内で 29日間実施	
	㉑ 73 rd	2025年1月～2月	

【大型鑑賞公演 ※入場料有料開催】

①大型鑑賞公演として「松浦航大×よよよちゃん 歌まねジョイントライブ in たんば」を6月23日(日)に開催しました。チケットは、4月21日(日)午前10時から(一社)ネクストゼロ(ライブピアいちじま)窓口、ローソンチケット及びチケットぴあでのWEB販売、同日午後2時から電話予約での販売を開始しました。

PA席を除く480席(補助席4席含む)のうち、窓口及び予約販売で298枚を、ローソンチケット及びチケットぴあでのWEB販売で176枚を販売し、また、A2事業におけるバンドフェスタデザイン画受賞作家やホール事業推進会議委員に招待券を配布し、販売開始から1か月半ほどで完売となり、松浦航大さんやよよよちゃんさんの人気の高さを実感する結果となりました。

お二人の迫力のある声量や圧倒的な歌の上手さに、会場内は終始大盛況となりました。アンケートの中には、「とても良い時間を過ごすことができた」や「全国区の本物を体感出来る機会は、田舎ではなかなかない。未来に繋がるととても良い機会に恵まれた」など来場者にとっては大変満足のいく公演であったことが伺えました。

運営委託開始後、初めての大型公演となりましたが、公演の事前周知や当日の駐車場誘導など、担当課とネクストゼロが連携して進めることができたと感じています。

公演は定刻で開始し、大きなトラブルは発生しませんでした。

【音楽系小規模公演 ※入場料有料開催】

②若者向けの事業として、丹波市9回目の開催となる「ブラック・ボトム・ブラス・バンド公演(TAMBA SUPER BRASS LIVE vol.9)」を、10月13日(日)に実施します。

昨年度と同様、市島中学校吹奏楽部、氷上中学校吹奏楽部、春日中学校吹奏楽部との共演(コラボ演奏)を実施する予定としています。公演日までに、ブラックボトムブラスバンドの大嶋氏の指導により、3校吹奏楽部とのワークショップ開催を予定しており、学校教育(部活動)とのタイアップによる地域の芸術環境づくりに繋げていきたいと考えています。

また、今年度新たな取り組みとして、ブラックボトムブラスバンドが小学校に出向いて、ワークショップと絡めた演奏会を実施します。地元ワークショップの第1弾として、金管バンドを有する吉見小学校で生徒向けのコンサートを実施します。

本公演及びワークショップは、令和6年度県民芸術劇場(一般公演)の補助対象公演として実施します。

既に(一社)ネクストゼロと公演団体との契約締結が完了しており、開催に向けた調整を進めている段階です。

チケットは、7月から発売開始を予定しています。

③④親子での文化芸術鑑賞の体験事業として、「0歳からのコンサート part1 KUMAさんトリオ withU」を11月16日(土)に、「0歳からのコンサート part2 新井宗平&山本かずみ アフタヌーンコンサート」を令和7年3月15日(土)に実施する予定です。

本公演は【0歳からのコンサート】と題しており、0歳の赤ちゃんから親子で一緒に楽しめるコンサートになっています。子育てアートサロンとの連携事業として、一般販売に加えて、市内全域の子育て学習

センターに来られている親子を招待し、子どもたちの記憶に残るイベントの開催に取り組みます。

【ファミリー公演 ※入場料有料開催】

⑤子育て世代のファミリー・子ども向けの事業として、クリスマスの定番事業である「ライフピア DE クリスマス」を12月21日（土）に開催する予定です。毎年、大盛況となる公演であり、今回もクッキーズスペシャルのコンサートやミュージカルの実施を予定しています。

チケットは、9月から発売開始を予定しています。

⑥子育て世代のファミリー・子ども向けの事業として、「ボルトボルズのサイエンスショー&ジャグリングショー」を9月8日（日）に開催します。お笑い芸人「ボルトボルズ」による笑いと驚きの科学実験ショーを予定しており、子どもから大人まで笑ってタメになるステージを企画しています。

既に（一社）ネクストゼロとプロモーターとの契約締結が完了しており、開催に向けた調整を進めている段階です。

チケットは、7月7日（日）から各プレイガイド窓口、同日午前10時からローソンチケット、チケットぴあ及びイープラスでのWEB販売、同日午後2時から電話予約（（一社）ネクストゼロ）での販売を開始しています。

【伝統芸能公演 ※入場料有料開催】

⑦伝統芸能の鑑賞機会の増進として、丹波市8回目の開催となります「第8回丹波寄席 吉弥・由瓶ふたり会」を令和7年2月9日（日）に開催する予定です。今年度においても氷上町出身の笑福亭由瓶氏と桂吉弥氏による「ふたり」の落語の世界を堪能できる落語会の開催を計画しています。

チケットは、11月から発売開始を予定しています。

【ピックアップアーティストシリーズ ※入場料有料開催】

⑧アマチュアアーティスト育成支援事業の発展型として、平成18年度から実施している本シリーズでは、シリーズ21「オペレータークラブ ZERO-IV企画」の開催を予定しています。

文化ホールの運営スタッフとして活躍している「オペレータークラブ ZERO-IV」が中心となって、公演の企画構成、運営を行う予定です。

⑨令和7年3月に、シリーズ22「高校生企画 卒業ライブ“卒フェス”」の開催を予定しており、柏原高校ギター部を中心としたステージ企画となる予定です。

【共催事業 ※入場料有料開催】

⑩共催事業（プロモーターの企画・制作事業）として、「坂本冬休み&トニーヒロタのものまねライブ（仮）」を令和7年2月24日（月・祝）に開催する予定です。圧倒的なものまね歌唱力を持つ「坂本冬休み」とタレントや歌手など200種類以上のレパートリーを持つ「トニーヒロタ」のものまねライブの開催を予定しています。

【補助事業 ※入場料有料開催】

⑪大和ハウス工業株式会社による協賛（補助）事業として、「大阪交響楽団 クラシックコンサート」を令和7年3月2日（日）に開催する予定です。ポピュラーな曲が大半を占めるクラシックコンサートとなるよう調整し、より多くの方が芸術鑑賞できる機会を提供していきたいと考えています。

【アマチュアアーティスト育成支援事業4フェスタ ※入場料無料開催】

⑫バンドフェスタは、26回目として7月14日（日）に開催します。バンドフェスタに15バンド64名、ジュニアステージに11バンド51名の出演を予定しています。

今年度も関係者限定のライブ配信を行い、会場での盛り上がりだけでなく、会場に足を運ばない関係者にも熱いライブを届ける予定です。

なお、今年度初めての取り組みとして、ジュニアステージのPA操作を「柏原高校ギター部」に担当いただき、「丹波市ならでは」の事業参画を実施し拡充する取り組みとなります。

また、フェスタの広報で使用するポスター・チラシの背景イラスト・デザイン画を一般募集した結果、昨年度を上回る応募がありました。申込点数5点（昨年度4点）。

⑬ピアノフェスタは、26回目として11月10日（日）に開催します。1部・2部合わせて73組77名（独奏67組・連弾6組）の出演を予定しています。

現在ポスター・チラシの背景イラスト・デザイン画を募集しています。(8月28日(水)まで)
9月上旬にプログラム順を確定させて、チラシ及びポスターを活用した広報活動を行います。

⑭ダンスフェスタは、22回目として12月1日(日)に開催します。

現在出演チーム及びポスター・チラシの背景イラスト・デザイン画を募集しています。(8月18日(日)まで)

⑮和太鼓フェスタは、22回目として令和7年1月26日(日)に開催します。

現在出演チーム及びポスター・チラシの背景イラスト・デザイン画を募集しています。(9月22日(日)まで)

【自主映画会 ※入場料無料開催】

年度内3回(夏1回、新年1回、春1回)の無料映画会を予定しています。

⑯サマーシネマを、7月21日(日)に開催します。子供向けCGアニメーション「パウ・パトロール ザ・マイティ・ムービー」を上映します。

⑰ニューイヤーシネマを、令和7年1月13日(月・祝)に実施を予定しています。

⑱スプリングシネマを、令和7年3月に実施を予定しています。

【スタインウェイピアノ試奏会 ※参加料有料開催】

スタインウェイピアノを常に一定の状態に保つために必要な「弾き込み会」として3回の開催を予定しています。

⑲1回目の開催として、4月から6月の期間内で19日間実施したところ、延べ198人102時間の利用がありました。198人中、10の方が新規利用をされました。

⑳2回目の開催として、8月から10月の期間内で29日間の実施を予定しています。

㉑3回目の開催として、令和7年2月から3月の期間内での実施を予定しています。

【広報活動】

広報活動は、事業の「見える化」に重点を置いた取組を展開中

①ポスター、チラシ、情報誌「みちくる」(年度内3回)配布・掲示

■市内公共施設等(支所、住民センター、チケットプレイガイド)

■市外関係館、ホール等(兵庫県下、福知山・綾部・舞鶴)約50箇所

■自主事業、貸館事業来場者への配布

■市主催以外のコンサート等でのチラシ配布(他館での関連イベント開催時)

■プレイガイド(市内公共施設、スーパー、量販店等)

②ピンポイント広報

■子ども向けの事業チラシを市内認定こども園へ配布(約7,500枚)・小・中学校へはメールで配信

■ダイレクトメール希望者へ事業チラシの郵送(年3回程度)

■情報誌「みちくる」を市内プレイガイドや各支所、住民センター等へ配布(平成28年度より実施)

■アマチュアアーティスト育成支援事業出演チーム(出演者)へ事業チラシの郵送(約50団体)

■市内中学校及び高等学校への事業チラシ配布

③誌面等の広報

■広報たんば(全戸配布)

■各新聞社(記者発表時に情報提供)

■情報誌(両丹日日新聞、ぶらり丹波路、公募ガイド、子育て支援サイト)

■有料広告(神戸新聞事業社)

(神戸新聞事業社)

④デジタル(ネット)広報

■ホームページ(担当課で随時アップ)

■フェイスブック、LINE(総合政策課により精査しアップロード)

■丹波市職員閲覧用ネット掲示板

⑤アナログ(放送)広報

■防災無線による自主事業等の放送

⑥招待券発行

- アンケート記入者等プレゼント…有料の事業で実施（1事業につき4枚程度）
- 読者・リスナープレゼント…丹波新聞社、タウンタウン、FMたんば
- 公演関係団体…中学校、高校生等で出演する部活動部員

【オペレーター育成講座】

丹波市文化芸術推進基本計画の基本目標2・基本方針①に定めている「文化芸術活動を行う後継者の育成を行う」という方針により、オペレーター育成講座を開催します。

丹波市立文化ホールでは、舞台技術のスタッフとして「オペレータークラブ ZERO-IV（ゼロ・フォー）」の舞台・照明・音響演出操作及びお客様対応等の協力を得て、『丹波市“ならでは”』の舞台運営を行っています。本講座は、地域住民が文化芸術の担い手として取り組める機会を提供し、舞台芸術への関心の向上と舞台技術オペレーターの人材育成を目的としています。

令和6年度より、ホール運営の委託業務として、（一社）ネクストゼロが講座の企画及び運営をしています。

開講期間	講座数・単位	内容	申込者数
令和6年7月6日～ 8月25日	全13講座23単位	バンドフェスタ仕込、リハ・本番体験 貸館イベント操作体験、座学	2名

現在、7月上旬から8月末にかけて15期生の講座を開催しています。イベントの仕込、リハーサル、本番の見学や機器の操作体験、舞台上での危機管理対応などの座学を全13回の講座を通して体験・体感する内容です。

【文化芸術体験講座 はじめの一步】

丹波市文化芸術推進基本計画の基本目標1 文化芸術の鑑賞・体験ができる機会の充実を図る。基本方針①気軽に文化芸術の鑑賞・体験ができる機会の充実を図る。②市民自らが丹波市の文化芸術の良さを再認識する。基本目標2 文化芸術活動が活発に行える環境の整備を行う。基本方針①文化芸術活動を行う後継者の育成を行う。②文化芸術活動への参加促進を図る。等の文化芸術推進基本計画により、はじめの一步講座を開催します。

【前期】全5講座（一般参加者募集型）

開催日	講座名	内容	募集定員
令和6年8月10日	プリザーブドフラワー	プリザーブドフラワーを使って「ウェルカムボード」を作る	20名
令和6年8月18日	ピアノの秘密	ピアノの中を覗いてみる	20名
令和6年8月24日	アート体験	イラストボードに色を塗り、重ねて、遊ぶ	10名
令和6年8月25日	ランチョンマットづくり	紙に「葉拓」を写し、ラミネートをしてランチョンを作る	20名
令和6年10月26日	はじめての版画	絵やイラストを製版してオリジナルグッズを作る	10名

【前期】全3講座（参加者限定型／柏原高校ギター部）

開催日	講座名	内容	参加者
令和6年6月18日	はじめてのPA講座	バンドフェスタ26th「ジュニアステージ」の音響オペレーションに向けた機器操作を学ぶ	25名
令和6年9月12日 13日	PA講座【学内実践編】	柏高祭（文化祭）で実施するライブを通じて実践でのオペレーションを学ぶ	〇名
令和6年10月6日	PA講座【学外実践編】	丹波年輪の里で実施するライブを通じて実践でのオペレーションを学ぶ	〇名
合計（全3講座）			25名

今年度は、前期講座として8月から10月にかけて5講座を開催します。プリザーブドフラワーを使用した「ウェルカムボード」作りやランチョンマットづくり、版面によるグッズ制作など親子で体験できる講座やピアノの秘密やアート体験といった感性を刺激する体験など、様々な文化芸術を体験することができる講座を企画しています。

また、今年度初めての取り組みとして、(一社)ネクストゼロと連携し、柏原高校ギター部を対象とした講座を開催しています。バンドフェスタとの関連や人材育成との関連として、参加者を限定した(柏原高校ギター部)講座を実施しています。

【子育てアートサロン】

丹波市文化芸術推進基本計画の基本目標3 子どもたちが多様な文化芸術に触れる機会を増やす。基本方針①普段の生活の中で子どもたちの記憶に残るような文化芸術鑑賞・活動を行う。基本方針③子育ての過程で、親子で文化芸術に親しむために取組を進める。以上の方針に従い、子育てアートサロンを開催しました。

昨年度と同様に、市内全域の子育て学習センターに来られている親子を対象に実施する予定です。

開催日	講座名	内容	参加者
令和6年11月16日	親子で楽しむふれあいコンサート(市内全域)	KUMAさんトリオ withU	親子 ○組 計○名
令和7年3月15日	親子で楽しむふれあいコンサート(市内全域)	新井宗平&山本かずみ アフタヌーンコンサート	親子 ○組 計○名

【自主事業・A2事業・貸館事業における来場者数】

春日文化ホールでは6月末までの実績として、10回2,632人(R5:14回1,620人)の利用回数及び来場者数となっています。また、ライフピアいちじま大ホールでは6月末までの実績として、5回1,402人(R5:3回1,273人)の利用回数及び来場者数となっています。

なお、利用回数及び来場者数は本番のみを計上しています。

5-① 令和7年度事業計画（案）

事業区分	公演名等	実施日	備考
大型鑑賞 公演 【有料】	①		
音楽系 中規模公演 【有料】	②		
音楽系 中規模公演 【有料】	③		
音楽系 小規模公演 【有料】	④ 県民芸術劇場 ブラックボトムプラスバンド公演(10回目) WS ※市内中学校吹奏楽部コラボ		
音楽系 小規模公演 【有料】	⑤		
ファミリー公演 【有料】 春日	⑥ ケロポンズ	7月5日⊕	
ファミリー公演 【有料】	⑦ ライフピア DE クリスマス コンサート・ミュージカル (28回目)		
伝統芸能公演 【有料】	⑧ 丹波寄席 (9回目) (笑福亭由瓶)		
ピックアップ アーティスト 【有料】	⑨ シリーズ 21 アマチュアアーティスト		
ピックアップ アーティスト 【有料】	⑩ シリーズ 22 高校生企画 卒業ライブ(6回目)		
宝くじ公演 【有料】	⑪		福崎町エルデホールと合同で 申請予定
A2 育成支援 事業 【無料】 ライフ	⑫ バンドフェスタ 27th (27回目)		
	⑬ みんなのピアノフェスタ 2025 (27回目)		
	⑭ ダンスフェスタ ACT-XXIII (23回目)		
	⑮ 第23打！和太鼓フェスタ (23回目)		
自主映画会	夏 ⑯		

【無料】春日	冬	⑰		
	春	⑱		
スタインウェイ ピアノ試奏会 【有料】ライブ	⑲	74 th		
	⑳	75 th		
	㉑	76 th		

【大型鑑賞公演 ※年度内1事業】

市民が日頃触れることの少ない、優れた（芸術性の高い）舞台芸術の鑑賞機会を提供し、ホール事業に対する市民の関心や意識の向上を図るとともに、豊かな感性や情操を育むことを目的としています。

①

令和4年度は「純烈コンサート」、令和5年度は「綾小路きみまろトークショー」と40代以上の年齢層に焦点を当てて公演を企画しました。令和6年度は「松浦航大×よよよちゃん 歌まねジョイントライブ」とこれまでと一転して、若年層世代に焦点を当てて公演を企画しました。

【音楽系中規模公演 ※年度内2事業】

市民が気軽にコンサート等を鑑賞できる機会を増やし、ホール事業に対する市民の関心や意識の向上を図るとともに豊かな感性や情操を育むことを目的として開催します。

②

③

【音楽系小規模公演 ※年度内2事業】

子どもの頃から質の高い文化芸術に触れる機会を提供し、子どもたちの記憶に残るような文化芸術の鑑賞機会を提供することを目的として開催します。

④ ブラックボトムブラスバンド公演（10回目・継続開催）

※BBBBは市内中学校吹奏楽部とのワークショップを実施し、プロとの舞台共演事業として継続開催。

（ワークショップを数回実施し、長期間の取組とします）

市内中学校の吹奏楽部とのワークショップが好評であり、一般参加者も舞台上で出演者と共に演奏できる機会があり、市民参画型事業として継続していきたい公演の1つです。

⑤

【ファミリー公演 ※年度内2事業】

親子で気軽に文化芸術鑑賞や体験ができる機会を増やし、ホール事業に対する市民の関心や意識の向上を図るとともに豊かな感性や情操を育むことを目的として開催します。

⑥ ライフピア DE クリスマス（継続開催）

⑦

【伝統芸能公演 ※年度内1事業】

県内外の伝統芸能や演芸、落語公演等の鑑賞機会を増やし、芸能による広域交流を進めるとともに、伝統芸能の保存や継承に対する意識の高揚を図ることを目的として開催します。

⑧ 丹波寄席（笑福亭由瓶氏プロデュースによる落語会を継続開催）

【ピックアップアーティストシリーズ ※年度内2事業】

丹波市にゆかりのある演奏家（プロ・アマ）の芸術活動を支援するとともに、市民のステージ文化に対する意識の高揚を図ることを目的として開催します。

⑨未定

⑩高校生企画 (柏原高校ギター部等、市内外の高校生による卒業ライブ企画を継続開催)

【補助事業】

上質な音楽を提供し、明るいまちづくりなどコミュニティ活動の充実・強化を図ることにより、地域社会の健全な発展と住民福祉の向上に寄与することを目的に開催します。

⑪

【アマチュアアーティスト育成支援事業】

アマチュアアーティストに発表の場を提供するとともに、オペレータークラブ ZERO-IVの技術研修、両者及び観客とのネットワークづくり・交流の場づくりを目的として開催します。

⑫バンドフェスタ 27th (27回目)

⑬みんなのピアノフェスタ 2025 (27回目)

⑭ダンスフェスタ A C T - X X I I I (22回目)

⑮第23打！和太鼓フェスタ (23回目)

【自主上映会 ※年度内3事業】

市民が気軽に映画鑑賞できる機会を提供し、家族や友達とのふれあいの場、身近な存在としてホールを意識していただくことを目的として開催します。

⑯「 未定 」夏季 ⑰「 未定 」冬季 ⑱「 未定 」春季

【スタインウェイピアノ試奏会 ※年度内3回程度】

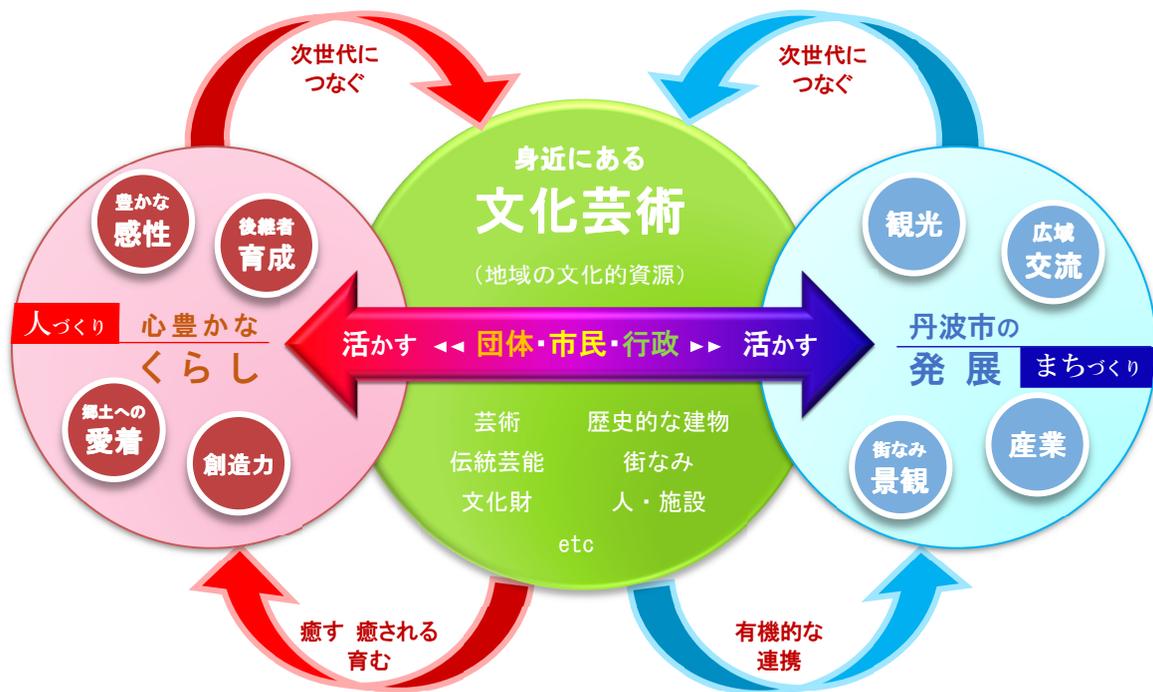
ライフピアのスタインウェイピアノを常に一定の状態に保つために必要な「弾き込み会」として開催するとともに、スタインウェイピアノやホールPRを目的として開催します。

⑲第74回 4月～6月 ⑳第75回 8月～10月 ㉑第76回 1月～2月

1. 基本理念

本市における文化芸術の推進のために、本計画の基本理念を次の通り掲げます。

多様な文化芸術を活かした次世代の 人づくり・まちづくり



【基本理念・計画のスキームについて】

丹波市の多様な文化芸術は一朝一夕にできたものではなく、私たちの先人が長い歴史や暮らしの中で大切に育み、現在に引き継がれています。

文化芸術には、人々の創造性を育み、その表現力を高めるとともに、人々の心の繋がりや多様性を受け入れることができる、心豊かな社会を形成する力があります。私たちには、この文化芸術をさらに発展させ、次世代へ引き継いでいく責務があります。

本計画における「文化芸術」という言葉は、芸術・伝統芸能・文化財・歴史的な建物・街なみ、また、文化芸術を支える人や、基盤となる文化ホールなど、非常に幅広い意味で使っております。

この多様な文化芸術を活かしていく主体は、「市民」「団体」「行政」で、この文化芸術を活かしていくためには、大きく分けて2つの方向があります。

1つは、文化芸術を人づくりに活かしていく方向と、もう1つは、まちづくりに活かしていく方向です。

まず、左側の人づくりや心豊かな暮らしに活かしていくことについては、3つの基本目標があります。

- 1つ目は、市民の皆さんが文化芸術に親しみ、心を癒し、「豊かな感性」を育む等、暮らしの中で活かしていくということ。
- 2つ目は、文化芸術活動そのものを楽しみ、また、「後継者の育成」等に活かしていくということ。
- 3つ目は、文化芸術を活かし、将来を担う子どもたちの「郷土への愛着」「創造力」を育むということです。

一方、右側は文化芸術を地域資源としてとらえ、まちづくりに活かしていくことです。文化芸術を「観光」「広域交流」、そして「街なみなどの景観」「産業」等、「まちづくり」や本市の「発展」そのものに活かしていくというもので、今後、この方向性が益々重要になります。

このように、本市の身近な暮らしの中にある“今ある・今している”多様な文化芸術を活かしていくことで、次世代の人づくり・まちづくりに繋げていきます。

2. 施策体系

基本的な考え方： **今**あるもの、**今**していることを**活**かしていく

基本理念

多様な文化芸術を活かした次世代の人づくり・まちづくり

人づくり

鑑賞者・体験者に関すること

基本目標1

文化芸術の鑑賞・体験ができる機会の充実を図る

幅広い市民が癒される・楽しむ

活動者に関すること

基本目標2

文化芸術活動が活発に行える環境の整備を行う

活動者が癒す・活力を生み出す・楽しむ

子どもに関すること

基本目標3

子どもたちが多様な文化芸術に触れる機会を増やす

子どもたちを育む

まちづくり

活用に関すること

基本目標4

観光・まちづくり等への有機的な連携を進める

文化芸術を活かす

＜各基本目標に対する基本方針＞

①気軽に文化芸術の鑑賞・体験ができる機会の充実を図る。

②市民自らが丹波市の文化芸術の良さを再認識する。

③県と市の連携を進める。

④文化芸術の広域交流を進める。

①文化芸術活動を行う後継者の育成を行う。

②文化芸術活動への参加促進を図る。

③団体同士の連携・協調を行う。

④文化芸術を担う若手の芸術家の発掘・育成を行う。

⑤市の中心地域に文化芸術の鑑賞・活動を行うことができる施設の整備を図る。

⑥丹波市（県を含む）ならではの舞台芸術等に磨きをかける。

①普段の生活の中で、子どもたちの記憶に残るような文化芸術鑑賞・活動を行う。

②学校教育で、優れた文化芸術に身近に触れ、感じる力（まごころ・愛着・想像力・創造力）を育む。

③子育ての過程で、親子で文化芸術に親しむために取組を進める。

①伝統芸能・伝統文化等の保存・継承・活用を行う。

②文化財（技術を含む）の保存・継承・活用を行う。

③文化的資源を新たに発掘・活用する。

④情報発信を積極的に行う。

＜10年後の将来像＞

鑑賞者・体験者に関すること

文化芸術の鑑賞・体験ができる機会の充実が図られ、「行ってみて良かった」「良い時間が過ごせた」「心が安らいだ」と思えるような、心豊かで充実した生活を営んでいる。

活動者に関すること

文化芸術活動が活発に行える環境整備が進んでおり、文化芸術による交流を通し、文化芸術に携わる人が増えている。また、文化芸術サロン（交流の場）ができ、若手の芸術家が少しずつ育成され活躍している。

子どもに関すること

子どもたちの記憶に残るような文化芸術に触れる機会が増えたことにより、豊かな「感性」や「情操」を育むとともに、生まれ育った郷土への愛着が少しずつ醸成されている。

活用に関すること

文化芸術に関わる人たちが一つの輪ができ、「住みたい」「育てたい」と思えるような魅力ある楽しいまちになっている。また、少しずつ交流人口が増え、祭り等の伝統文化や歴史的な街なみが活用されている。

2. 基本目標2 文化芸術活動が活発に行える環境の整備を行う

基本方針① 文化芸術活動を行う後継者の育成を行う。

(1) 現状と課題・展開

● 文化芸術活動を行う団体の後継者の育成

団体の構成員の高齢化によりリーダーや後継者の育成ができていないことや、若い世代が文化芸術活動に対して「興味を持ってない」「団体に入りづらい」という意識を持っていることから、団体の構成員が減少しています。

団体アンケート調査では、文化芸術活動の問題や課題として、「活動を支える人材」が深刻な問題として挙がっています。

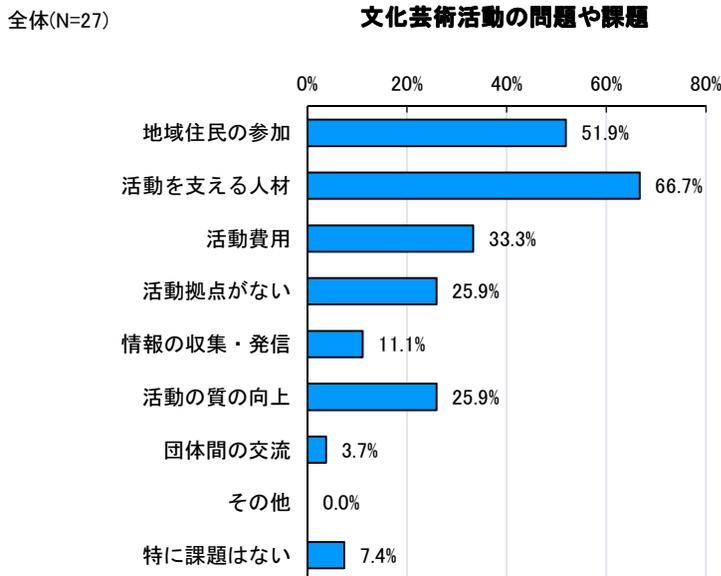
このような状況を打開するためには、研修会や講演会を通じて、文化芸術活動の魅力を伝えていく必要があります。

● 文化ホールの舞台運営をサポートするスタッフの人材育成

現在、文化ホールの舞台運営をサポートするスタッフは51名ですが、イベント時の実動人員としては少ない人数になるため、人材不足が課題になっています。

また、機器操作等の技術面では、技術指導が不十分であるため、スタッフの技術向上のための取組を進める必要があります。

○ アンケート結果（団体）



<参考データ>

兵庫県「県民モニター第3回アンケート調査」（平成25年9月～10月）

「芸術家や芸術団体が力を入れるべきもの」

担い手の育成：64.3%、小・中学校で行う芸術文化教育の支援：57.1%

(2) 推進項目

文化芸術活動を行う後継者の育成を行うために、以下の施策を推進します。

分類	施策	内容	実施主体
拡充	文化芸術活動者の育成	団体の活動を若い世代に発信し、活動者の育成を行う。	丹波市 関係団体
新規	後継者育成に関する研修会・講演会の開催	文化芸術活動の「魅力」を伝える等、各種団体への後継者育成に関する研修会・講演会を開催する。	
継続	文化芸術活動団体への支援	文化芸術活動を行う団体への支援（補助）を継続的に行う。	丹波市： 文化・スポーツ課 他
継続	舞台運営オペレーターへの育成	舞台運営等を担うオペレーターの養成講座（全12回/年）を実施し、人材を育成する。	丹波市： 文化・スポーツ課
新規	アマチュアアーティスト育成支援事業の推進	アマチュアアーティスト育成支援事業の各フェスタ（バンド、ピアノ、ダンス、和太鼓）について、継続して企画・運営を担える職員の育成を行う。	
継続	地域研究会への事業支援	各地域の郷土史研究会・史実研究会*等が主体的に活動できるための事業支援を行う。	丹波市教育委員会： 文化財課

(3) 実現に向けての役割

市民の取組

- 積極的に文化芸術活動に参加する。

団体の取組

- 団体の活動を若い世代に発信する。
- 団体間で連携をしながら、活動者の育成を行う。

行政の取組

- 団体の活動に対して、支援や補助を行う。
- 後継者育成に関する研修会等の開催を支援する。
- オペレーター養成講座を開催する。

【文化ホールオペレーター養成講座】



【ライフピアいちじま大ホール】

高校生が音響に挑戦

バンドフェス 「裏方さん、ありがとう」

学生、社会人バンドが盛り上げた。

集う「バンドフェスタ26

th」(丹波市、一般社

団法人・ネクストゼロ主

健)が14日、ライブピエ

いちじまで開かれ、約2

00人が参加した。ロ

ビー特設ステージでは高

校生バンドが出演する

「ジュニアステージ」が

行われ、今回初めて、人

材育成の観点から高校生

自らが音響や司会進行を

担当。若い力でイベント

を盛り上げた。

今年度からホール運営

の経験者で同法人を立

ち上げ、市民参画型の公

演運営の継続と、舞台技

術スタッフの育成強化を

目指して取り組みを始め

た。同フェスも昨年まで

は、担当の市職員やボラ

ンティアスタッフで運営

してきた。

現在、柏原高校ギター

部には約70人、氷上西高

校ギター部には約20人の

人材育成で試み

部員がいるという。この者、OBらが詰めかけ、

グループに乗り、人材手拍子などでステージを

育成につなげようと、同盛り上げた。

法人スタッフが6月に機初めて本番で音響を担

材持参で柏原高校ギター部当した柏原高校ギター部

部を訪ね、音響技術を伝の中島洸太郎長(2年)

授した。ジュニアステージは2

回に分けて行われ、3高は、「学校にある機材よ

(柏原、氷上西、三田学りも性能が良い機材を使

園)11バンドが出演。高わせてもらえる分、操作

校生の、高校生による舞が難しい。バンドが交代

台となり、客席には他ので、音量などの調節が難

部員たちや友人、保護りがあった。裏方さんのあ

話していた。

同ホールで行う本ス

テージには15バンドが出

演。司会は氷上西高校の

生徒が担当した。また、

同フェスのポスター、チ

ラシのデザインも高校生

が手がけた。

同法人の長井誠代表理

事は、「出演者を含める

と10-70歳代が関わるイ

イベントになった。いろん

な人を巻き込むことで、

高校生には心に残るイベ

ントになり、われわれ大

人も刺激を受ける」と手

応えを感じていた。



高校生が出演し、音響や司会も担当したジュニアステージ。多くの人が詰めかけ、手拍子を送った
=市島町上田で

市立文化ホール事業推進会議の進め方及び任期について

(9月30日任期満了)

1 会議開催スケジュール	令和6年度											
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
※緊急的に協議が必要となった場合は臨時的に開催させていただく場合があります。												
【主な協議事項等】 ※ホール運営委託の状況については、毎回報告をさせていただきます。				●前年度振り返り ●次年度自主事業		● 中間報告 他			● 前回までの報告事項 ● 次年度自主事業他			●年間のまとめ ●次年度のスケジュール 他

2 委嘱替えスケジュール	令和6年度											
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
①推進会議要綱改正(*1) ・次期委員の任期(予定) 令和6.10.1~令和8.3.31												
②公募委員 募集開始 → 決定					● → ●							
③委員推薦依頼 依頼 → 決定					● → ●							

*1 次期から委嘱する委員以降、年度末に委嘱替えを行うよう任期「2年」を「2年以内」に要綱改正を行う。

【現委員の任期】 ※任期中の着任を除く

令和4年10月1日から令和6年9月30日まで(2年)

【次期委員の任期】

令和6年10月1日から令和8年3月31日まで(1年6ヶ月)

【次次期委員の任期】

令和8年4月1日から令和10年3月31日まで(2年)